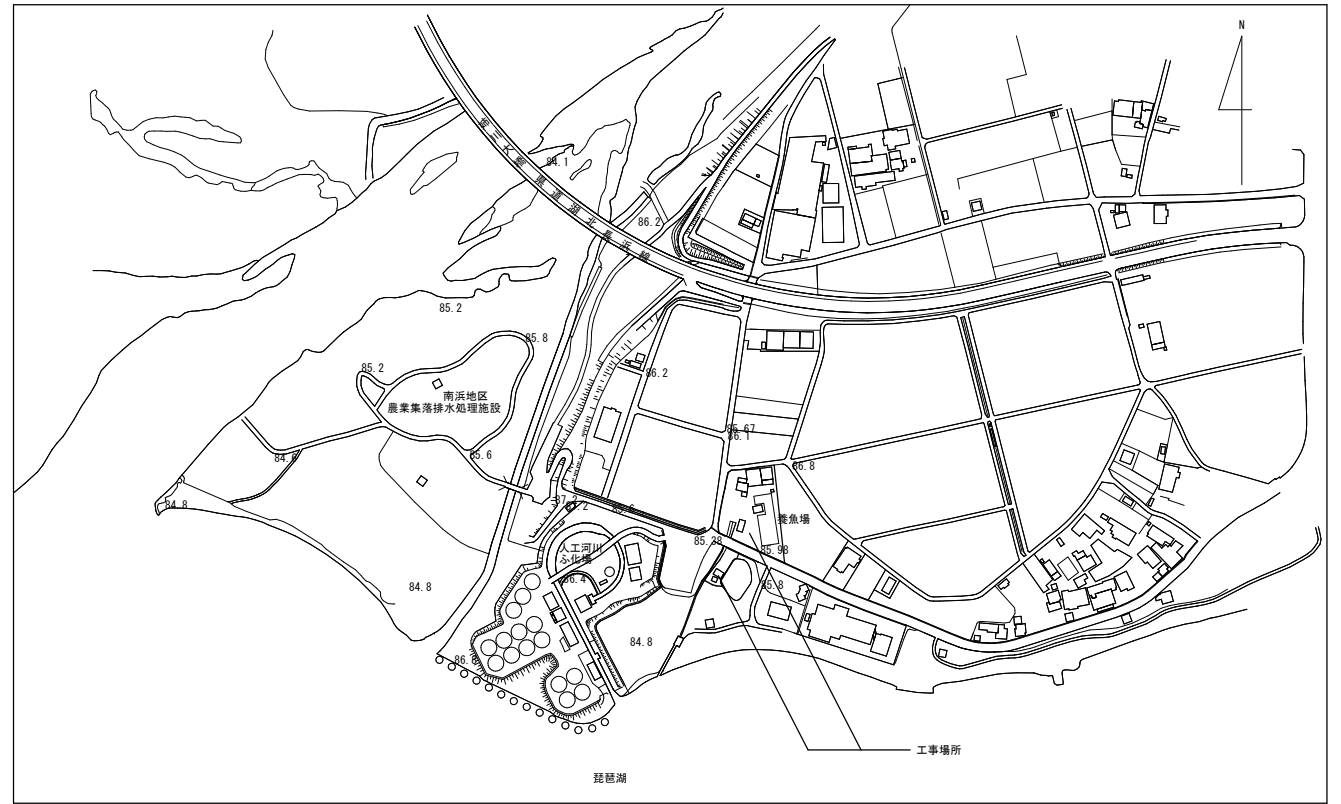
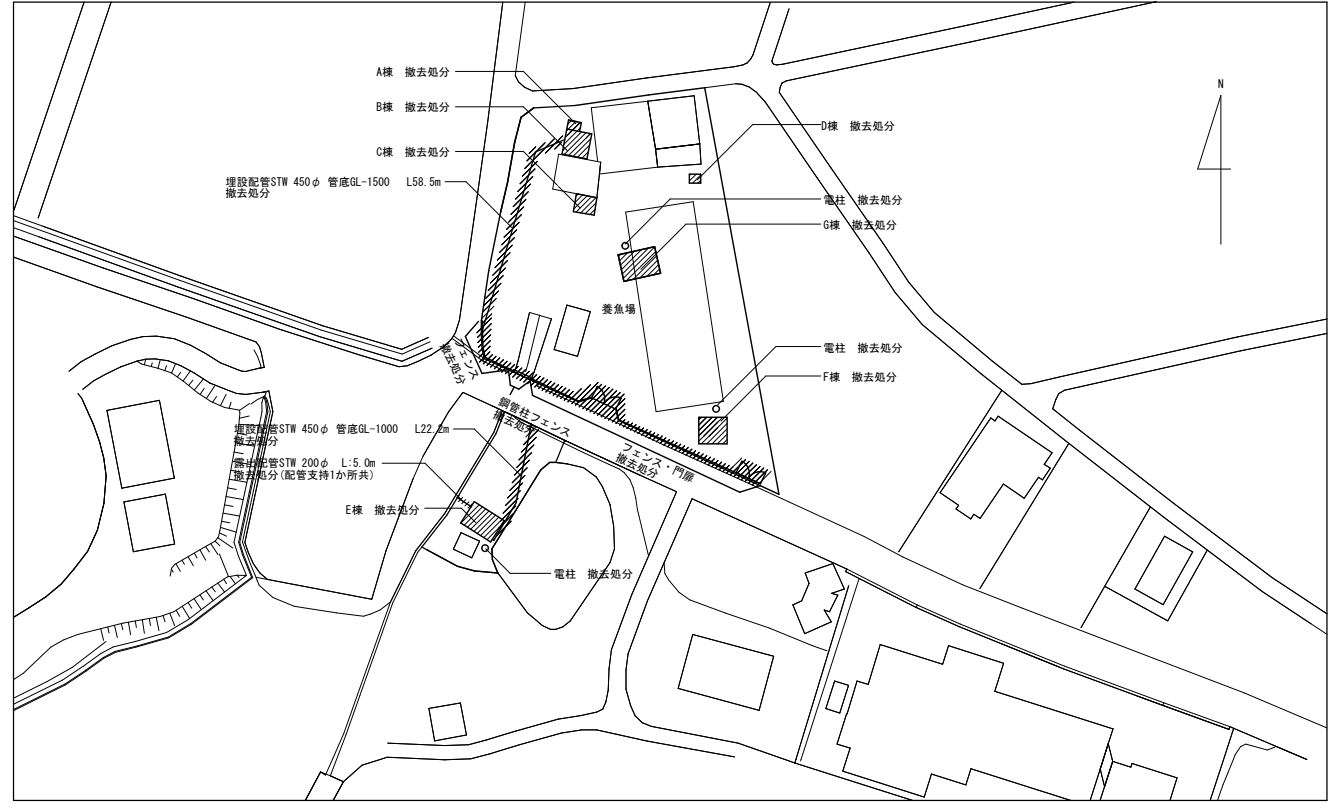


Ⅶ アスベスト含有建材の 除却及び処理	① 建築設備に使用されているアスベスト含有材の処理	
	使用設備の種類	処理方法
	配管フランジ部のガスケット	廃棄・処分
② アスベスト含有調査	※ アスベスト含有調査 ※ 行う ・ 行わない ・ 別途協議 ○ 石棉含有建材の事前調査 詳細は本特記仕様書 1-33参照 ※大気汚染防止法、労働安全衛生法、石棉障害予防規則、その他石棉処理に関する諸法令等に基づき実施すること。 ※石棉の事前調査は、建築物石棉含有建材調査者講習登録規程に規定する建築物石棉含有建材調査者等、一定の知見を有する者が実施するよう努めること。 ※事前調査結果は書面で発注者に説明すること。 ※事前調査結果を作業場に備え付け、掲示すること。	
	※ アスベスト粉塵濃度調査 ※ 行う ・ 行わない (6.1.3)	
③ アスベスト粉塵濃度調査	測定名称	測定時期
	測定1	測定2
	測定3	測定4
	測定5	
④ 専門工事業者	アスベスト含有建材(設備を含む)の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を、監督職員に提出すること。	
⑤ 作業主任者	石棉作業主任者研修又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了した者とする。	
⑥ 除去作業者	石棉障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者で、該機能に異常が無いものとする。	
⑦ アスベスト含有建材の除去	① アスベスト含有吹付け材	
	材料名	厚さ(mm)
	外壁吹付け材	10
⑧ 作業用の更衣施設及び洗身施設	更衣施設及び洗身施設は、作業区域の出入口に接して、作業期間を通じて設置する。更衣施設は、通廊更衣スペースと保護更衣スペースとを分離したものとすること。 セキュリティゾーン	
⑨ 作業場所の表示	作業場所には、見易い所に「工事関係者以外立入り禁止」の表示を設置する事。	
⑩ 呼吸用保護具及び保護服	アスベスト除去、封じ込め作業員は、全身を覆う特殊作業服及び靴を使用し、作業終了後は、除去したアスベストと同様、安全に処分する事。なお、除去作業時は電動ファン付き呼吸用保護具又は同等以上の性能を有するものを使用すること。	
⑪ 飛散防止及び養生	作業区域は他の場所へのアスベスト汚染を防止する為、全周を防音シートで囲い、床t:0.15mm以上2枚重ね、窓t:0.08mm以上のプラスチック(JIS(Z1702-1986)同等以上)により、養生すること。また、捕集された粉塵処理を的確に行う事。 上記養生については、管轄の労働基準監督署、環境事務所と協議の上行う事。 ・作業中のアスベスト粉塵の飛散を防止する為に、粉塵防止剤を十分に噴霧して作業を行う。 ・作業区域内の設備、什器等は、区域外へ搬出して作業を行う。尚、搬出に際し移動困難なものについては、上記のポリエチレンシート等で完全に覆う事。	
⑫ 撤去方法	吹付タイル撤去 国立研究開発法人建築研究所 「建築物の回収・解体時における石棉含有建築用仕上塗材からの石棉粉じん飛散防止処理技術」に示される下記撤去法より選定する。 ・水洗い工法 ・手工具ケレン工法 ・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa 程度) ・集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa 程度) ・超高圧水洗工法(100MPa以上) ・集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・超音波ケレン工法 ・超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用) ・剥離剤併用手工具ケレン工法 ・剥離剤併用高圧水洗工法(30~50MPa 程度) ・剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上) ・剥離剤併用超音波ケレン工法 ・ディスクグラインダーケレン工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 一般事項 ・アスベスト撤去は、飛散防止剤がよく浸透した後に、スクレーパーやワイヤブラシ等により行う。 ・除去後の残アスベスト粉塵の飛散を防止する為、飛散防止剤を除去面に十分に吹付ける。 ・除去したアスベストは、作業所において、その湿度を調整させるなどの処理を講じた上、十分に強度を有するプラスチック袋、又は、堅牢な容器に密閉するか、セメント等を用いて固化処理(10kg/cm2以上)を行い、シート等により二重梱包するものとする。 ・作業中の酸欠及び有機揮発性ガス対策等に留意する事。	

Ⅷ アスベスト含有建材 (6.4.1)	材料名		処理を行う箇所
	配管フランジ部のガスケット		工事エリア内
② アスベスト含有成形板 (6.5.1)	材料名		処理を行う範囲
	ビニールタイル(Pタイル)		※ 図示
	ケイカル板		※ 図示
	スレート		車庫 外壁
	除去工法	※ 手ばらし ・ 特殊工法 ()	
		除去したアスベスト含有成形板の処理(飛散防止措置) ※ シート養生	
		除去したアスベスト含有成形板の処分 ※ 埋立処分	
		※ 労働安全衛生法/石棉障害予防規則・大気汚染防止法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適切に処理すること。	
Ⅸ 特殊な建設副産物の処理 (7.3.1)	副産物の種類		機器名称
	・フロン	空調機器	・保管 ※ 回収 ・ 処分
	・ハロン		・保管 ※ 回収 ・ 処分
	・イオン化式感知器		・保管 ・ 回収 ※ 処分
	・六フ化硫黄(SF ₆)ガス	絶縁開閉器	・保管 ※ 回収 ・ 処分
	・PFOS(ペルフルオロオクタン-1,8ジスルホン酸)	泡消火器	・保管 ・ 回収 ※ 処分
	・高濃度PCB	トランスコイル	※ 保管 ・ 回収 ・ 処分
		※ 「保管」は関連法令に従い市担当者に引渡すものとする。また、「回収」「処分」は専門業者に処理を委託するものとし、本工事で関連法令に従い回収又は処分する。	
Ⅹ 特記事項	・建築物の杭はありません。 ・建物内の残存物の処分は別途とします。 ・写真では建築物の周囲に草木がありますが、現在は伐採済みです。 ・現在敷地内の電気、電話は供給が停止されています。水道は供給されており、工事用水として利用可能です(水道料金は受注者負担) ・給水配管のフランジ部のガスケットはアスベスト含有品なしとして取扱いします。また、ガスケットはフランジに固着しておらず、容易に取り外すことができることを確認しているため、フランジ部両側から配管切断をする手間は不要とします。 埋設配管STW 450φ 管底GL-1000、L22.2m及び管底GL-1500、L58.5m撤去について、配管のフランジ部のガスケット計31枚についても同様の取扱いとします。		



付近見取図 1/2500



配置図 1/2000

南浜養魚施設建築物等解体工事

A棟

コンクリートブロック造 平屋建

W1600×D2300×H1100(mm)

外壁：コンクリートブロック表し

屋根：コンクリート床板t120

コンクリート基礎



南浜養魚施設建築物等解体工事

A棟

コンクリートブロック造 平屋建

W1600×D2300×H1100(mm)

外壁：コンクリートブロック表し

屋根：コンクリート造t120

コンクリート基礎



南浜養魚施設建築物等解体工事

B棟

コンクリートブロック造 平屋建

W4500×D4500×H3000(mm)

外壁：コンクリートブロックの上、モルタル塗

屋根：木造、屋根葺き材は金属波板

木製建具1200*600×2か所

木製建具900*1800×1か所

コンクリート基礎

土間コンクリートt150

分電盤1か所

ポンプ基礎 計1.07m³



南浜養魚施設建築物等解体工事

B棟



南浜養魚施設建築物等解体工事

C棟

鉄骨造 平屋建

W3000×D3500×H2700(mm)

外壁：波板鉄板

屋根：木造、屋根葺き材は金属波板

基礎：無し(コンクリート製水槽の上に建築)

屋外分電盤2か所

木製建具1600*900×1か所

木製建具900*1800×1か所

木製建具1800*1800×1か所



南浜養魚施設建築物等解体工事

C棟



南浜養魚施設建築物等解体工事

C棟

鉄骨造 平屋建

W3000×D3500×H2700(mm)

外壁：波板鉄板

屋根：木造、屋根葺き材は金属波板

基礎：無し(コンクリート製水槽の上に建築)

屋外分電盤2か所

木製建具1600*900×1か所

木製建具900*1800×1か所

木製建具1800*1800×1か所



南浜養魚施設建築物等解体工事

D棟

鉄骨造 平屋建

W2000×D1600×H1800(mm)

外壁：ベニヤ板

屋根：金属波板

基礎

土間無し



南浜養魚施設建築物等解体工事

E棟

コンクリートブロック造 平屋建

W5050×D3850×H2750(mm)

外壁：リシン吹付(アスベスト無,調査済)

屋根：防水モルタル

蛍光灯40W2灯 ×4箇所

立水栓1か所

外部手洗い撤去



このフランジより左側の配管・建物を解体・撤去



南浜養魚施設建築物等解体工事

E棟の室内

ポンプ 計3台

薬注ポンプ 計1台

導水管バルブ 計1台

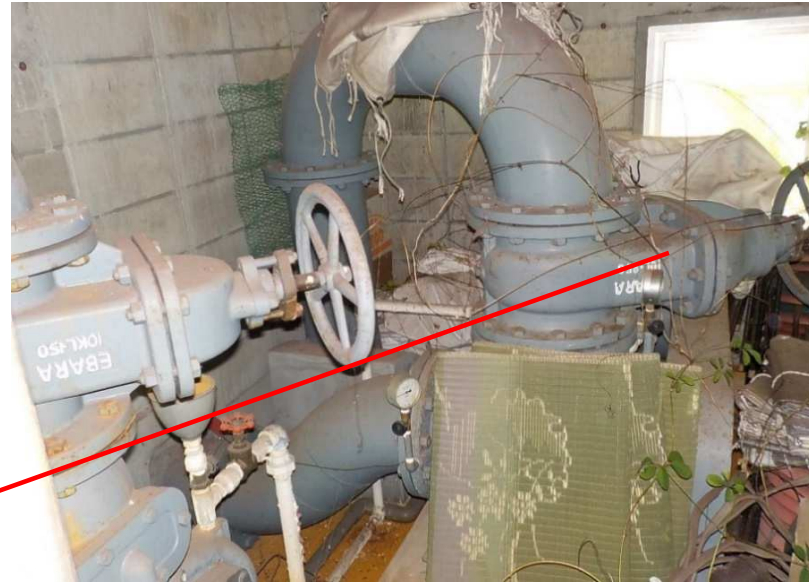
上記設備基礎 計1.07㎡

フランジ部ガスケット アスベスト含有みなし計25か所

分電盤 計2個

分電盤 計2台

導水管バルブ



南浜養魚施設建築物等解体工事

E棟の室内

ポンプ 計3台

薬注ポンプ 計1台

導水管バルブ 計1台

分電盤 計2個



ポンプ①

ポンプ②

ポンプ③



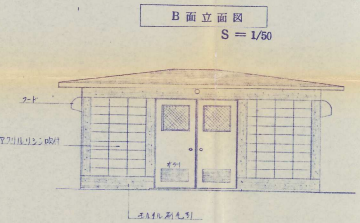
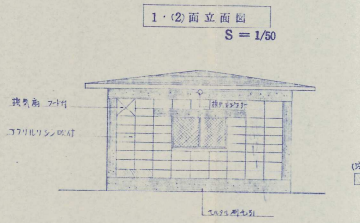
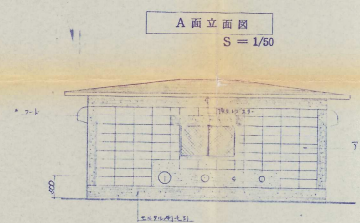
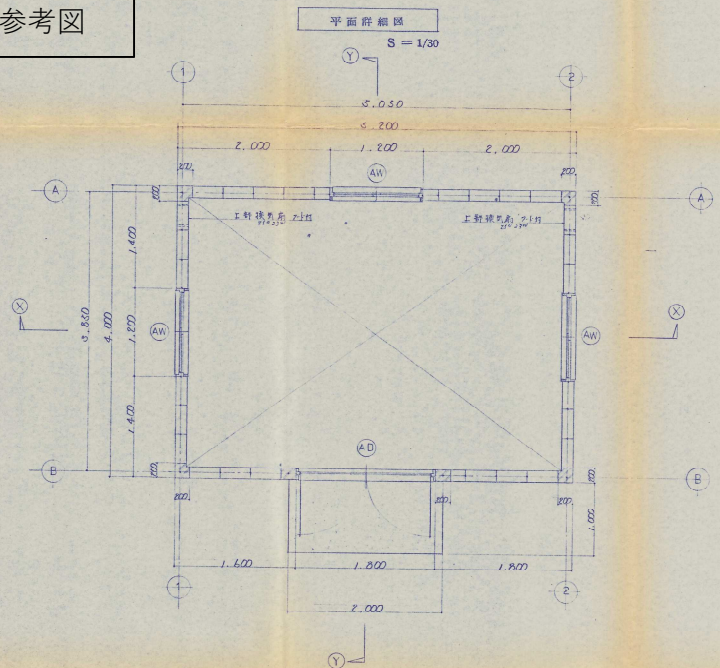
薬注ポンプ



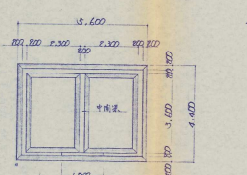
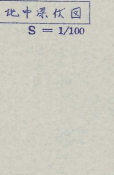
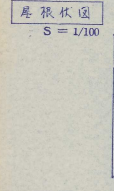
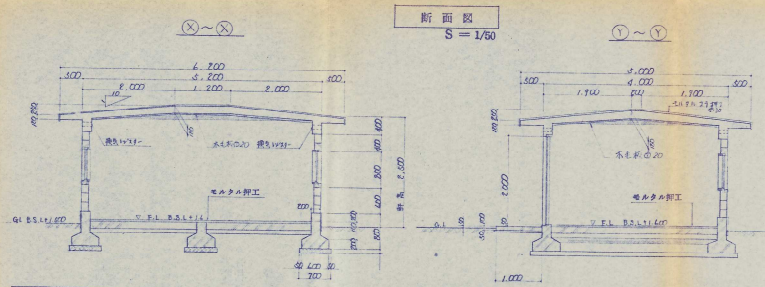
導水管バルブ

南浜養魚施設建築物等解体工事 E棟参考図

設計概要	
種別	解体
建築面積	19.443㎡
基礎	コンクリートブロック基礎
躯体	コンクリートブロック
外壁	防水コンクリートブロック
屋根	モルタル防水コシ
天井	コンクリート打放し
床	コンクリートブロック
開口部	木製窓枠
その他	
備考	



建具寸入	
記号	窓枠
形式	木製窓枠
材質	ヒノキ
寸法	1100 x 600
色	自然色
備考	ヒノキ製、スリット付、下木付



図番	7	整理番号	2/
名称	南浜養魚施設対策		
内容	解体工事設計図		
作成者		承認者	
作成日		承認日	
スケール	1/50		
備考	水資源開発公園慈恵湖開発事業建設部		

南浜養魚施設建築物等解体工事

F棟

漁具乾燥棟

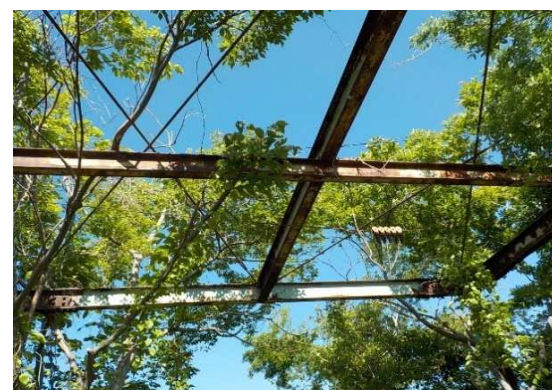
W5000×D4700×H3500(mm)

鉄骨柱：H100*100*6*8 計14.0m

鉄骨梁：H200*100*5.5*8 計29.1m

基礎コンクリート（鉄骨柱脚部計4箇所）

土間コンクリートt150 計23.5㎡



南浜養魚施設建築物等解体工事

G棟

日除け棟

W5500×D3400×H2650(mm)

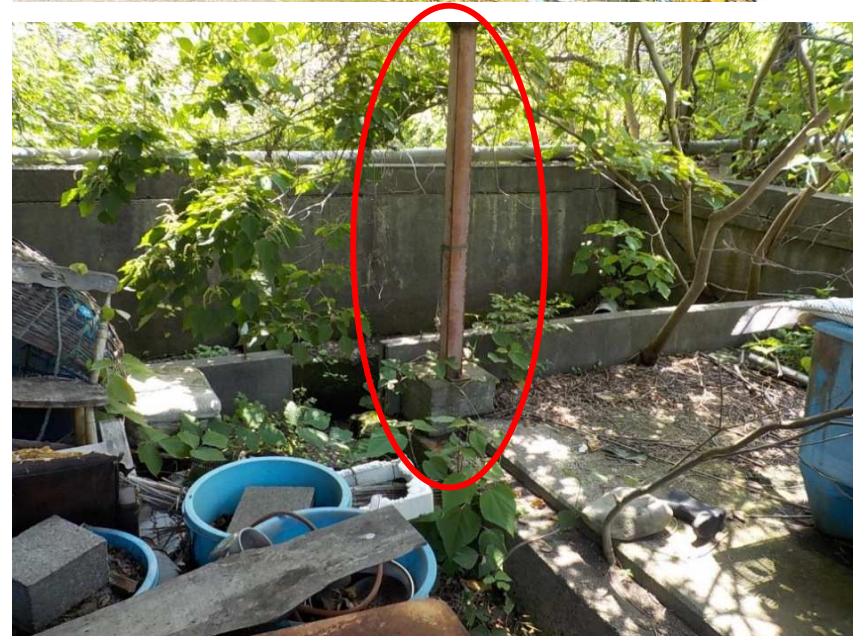
外壁：無し

屋根：折版19.4㎡

鉄骨柱：□100*100*3.2 計12.6m

鉄骨梁：H198*99*4.5*7 計30.1m

基礎コンクリート(鉄骨柱脚部計4箇所)



南浜養魚施設建築物等解体工事

G棟

日除け棟

W5500×D3400×H2650(mm)

外壁：無し

屋根：折版19.4㎡

鉄骨柱：□100*100*3.2 計12.6m

鉄骨梁：H198*99*4.5*7 計30.1m

基礎コンクリート(鉄骨柱脚部計4箇所)



南浜養魚施設建築物等解体工事

G棟

日除け棟

W5500×D3400×H2650(mm)

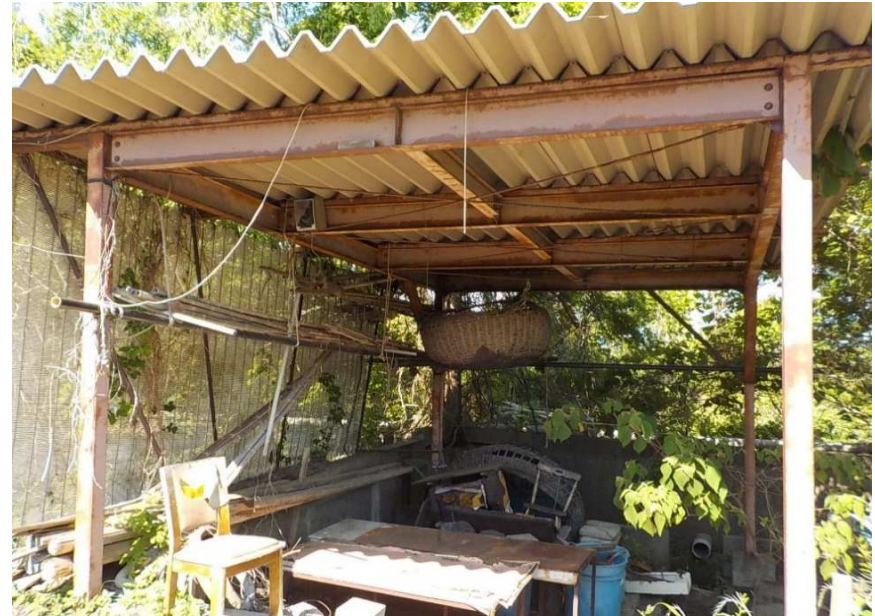
外壁：無し

屋根：折版19.4㎡

鉄骨柱：□100*100*3.2 計12.6m

鉄骨梁：H198*99*4.5*7 計30.1m

基礎コンクリート(鉄骨柱脚部計4箇所)



南浜養魚施設建築物等解体工事

外構

引込鋼管柱 6m160φ 3か所

同上根巻コンクリート 3か所

鉄製門扉W4700、H1700 1か所

鉄製門扉W6500、H1350 1か所

フェンスH1.35~1.45m、 34.7m

鋼管柱フェンス H:2.0m 5.7m

フェンス基礎 28か所



南浜養魚施設建築物等解体工事

外構

引込鋼管柱 6m160φ 3か所

同上根巻コンクリート 3か所

鉄製門扉W4700、H1700 1か所

鉄製門扉W6500、H1350 1か所

フェンスH1.35~1.45m、 34.7m

鋼管柱フェンス H:2.0m 5.7m

フェンス基礎 28か所



南浜養魚施設建築物等解体工事

外構

引込鋼管柱 6m160φ 3か所

同上根巻コンクリート 3か所

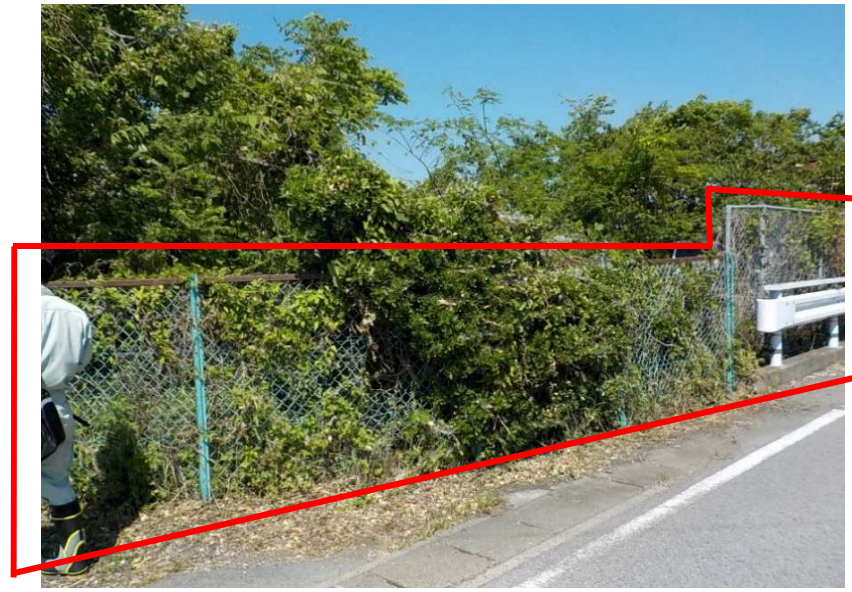
鉄製門扉W4700、H1700 1か所

鉄製門扉W6500、H1350 1か所

フェンスH1.35~1.45m、 34.7m

鋼管柱フェンス H:2.0m 5.7m

フェンス基礎 28か所



南浜養魚施設建築物等解体工事

外構

引込鋼管柱 6m160φ 3か所

同上根巻コンクリート 3か所

鉄製門扉W4700、H1700 1か所

鉄製門扉W6500、H1350 1か所

フェンスH1.35~1.45m、 34.7m

鋼管柱フェンス H:2.0m 5.7m

フェンス基礎 28か所



南浜養魚施設建築物等解体工事

外構

引込鋼管柱 6m160φ 3か所

同上根巻コンクリート 3か所

鉄製門扉W4700、H1700 1か所

鉄製門扉W6500、H1350 1か所

フェンスH1.35~1.45m、 34.7m

鋼管柱フェンス H:2.0m 5.7m

フェンス基礎 28か所

